

県連冬期遭難対策講習会の報告

担当：櫻田正行

日 時：令和3年2月14日（日）9：00～14：00

場 所：雲谷ヒルズ(P-6)駐車場付近の雪上

テーマ：「ビーコン捜索後の適切な行動」

参考資料：日本雪崩捜索救助協議会「雪崩インシデントへの対応」CD

講 師：清野嘉樹県連会長

参加者：19名（弘前労山 8名、青森労山10名、青森FHC 1名）

内 容

1. ビーコンの周波数の測定
2. ビーコンの性能の把握
3. 埋没者の捜索
（昼食・休憩）
4. 複数の埋没者の捜索
5. 近接位置での埋没者の捜索

晴天の下で、雲谷ヒルズ P-6 駐車場へ集合し、初めに、各自のビーコンの周波数を測定器に宛てて、457KHz になっているかを確認してから、講習会の開始です。次に、各自のビーコンの受信範囲を確認するために、発信元から 60 メートル以上離れた位置からスイッチを入れて、徐々に近づいて自分の機器が何メートルで受信可能を確かめ、私の機器は 49 メートルで受信可能となりました（天候や気温で変わるようです）。続いて埋没者の捜索を行い、埋没者（ダミーに発信機を入れて埋める）を、グループ毎に分けて捜索を行う訓練、目標と思う箇所に各自の目印の棒を雪上に立てて、スピードと正確性を求めるものでした。

昼食・休憩後には、ビーコン、プローブ（棒）、スコップを用いてグループ毎に複数の埋没者及び、近接位置での埋没者の捜索を繰り返し行い、10 分以内での発見・掘り出しを目指して行い・用救出者の気道を確保しないと、生存救出することができないので、生死に関わる貴重な体験として捉えて、各参加者が真剣に取り組んで無事に好天のうちに終了することができました。

